



歩こう探そう
みたき再発見。



みっちゃん



たっくん



きーぼー

三滝の四季折々魅力綴り

春



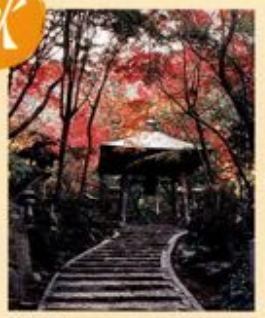
春は花
参道の桜並木
丘は桜色
竜王公園にウグイスの声

夏



夏は水
滝のしぶき
小川のせせらぎ
キャンプ

秋



秋は色
紅葉は輝く
木の実艶やか赤・青・黒
河川敷でハゼ釣り

冬



冬は草原
鐘の音響き
川に水鳥
とんととたこあげ



発行：1刷 平成14年(2002)3月
2刷 平成15年(2003)3月
企画編集・みたきマップ企画市民グループ
制作／広島市西区役所

施設

三滝少年自然の家



アスレチックやキャンプなど
自然と触れ合える施設。
散策はもちろん遊びながら三滝
の自然が学べる少年自然の家で
三滝の魅力を満喫しよう。



■休所日
毎週月曜日・祝日の翌日
8/6・12/29～1/3まで

お問い合わせ先
082-238-6301

おススメ

太田川放水路

太田川では、昔から洪水が起こる度に、水害にみまわれていました。特に大正時代末期から昭和時代の初めにかけて、大水害がたびたび発生しました。このため、新しく放水路をつくって大水害の発生を防ぐようにしました。放水路は、広島市の西部を流れていた山手川と福島川の下流をあわせて、掘って広げ長さ9km、川幅300mの放水路とすることになりました。

太田川沿いではじみとりやハゼ釣りなど河岸緑地で楽しむことができます。また、夏には盆踊り大会などが催されます。冬には凧上げや、地元の人たちによるとんどなど親しみ深い魅力空間になっています。



自然

放水路(三滝橋～竜王橋)の野鳥
一年中よく見られる・・・アオサギ、セグロセキレイ、ムクドリ、
カワラヒワ、キジバト、ヒヨドリ
冬に見られる/マガモ、ヒドリガモ、カルガモ、カイツブリ、ハクセキレイ、ツグミ



み た き じ

三瀧寺

四季折々いろんな表情が味わえる三瀧寺参道



本堂

三瀧寺の境内をめぐる参道沿いには、小さな石仏がたくさん立ち並び、思い思いの表情を見せてくれます。最後の石段を登りきると、平安、鎌倉時代の建築様式の粋を集めた本堂があり、室内には観音菩薩像などたくさんの仏像が置いてあります。また、この中には、室町時代の作といわれる市指定重要有形文化財の「木造阿弥陀如来坐像」があり、蓮華座の上に座して、最も一般的な姿である定印を結んでいます。



多宝塔



室町時代に創建されたもので、県の重要文化財となっています。もとは和歌山にあったものを第二次大戦後、原爆犠牲者の霊を弔うため、移されたものです。大永6年(1526)に創建され、このような塔は、広島県内には三塔しかないものでその一つです。塔内には、国の重要文化財である仏像が安置され、年に一度、11月に一般公開されています。

木造阿弥陀如来坐像

多宝塔内に安置されている阿弥陀如来坐像は、塔の完成後大阪府の観心寺から移されたもので、昭和33年2月8日に国の重要文化財に指定されました。胎内に仁平四(1154)の銘があり、藤原時代の作で、定朝様作風と言われ、秘仏として保管されています。

三瀧の由来

「三瀧」の名称の由来と なった3つの滝



三つの瀧に幾夜うたれて
龍泉寺胸の佛の姿みるまで
春は花秋は紅葉のみたき山
夏の瀧津瀬冬の思ひ出

三鬼権現堂・鎮守堂・鐘楼

この三つの建物は、境内に今も残る被爆建物です。本堂からさらに奥にある「鎮守堂」は「天神堂」とも呼ばれ、受験生のお参りも多く絵馬の奉納所ともなっています。本堂手前右手の石段を登ると、小さなお堂「三鬼権現堂」があり、さらに進むと、市内を一望できる高台に出ます。





三滝山(宗箇山) 散策 (標高356m)

Aコース

本堂奥から滝の上の岩床を行くと小さな堰堤があります。うす暗い杉林から竹林へと進むと鉄塔に出て、右手に山頂が望めます。小鳥の声に応援され、明るい軽快な尾根道を行くと「少年の家コース」と合流。分岐を右に進み、すべり易い急坂を過ぎると、奥畑への分岐。尾根道をさらに進めば山頂で、広島市内や瀬戸内海の美しい景色が眺められます。

Bコース

想親観音堂右が登山口。春から夏、ムラサキケマン、シャガ、ヤブラン、コウヤボウキに見とれていると、もう鉄塔。木立をぬけると左手にふたごの大岩があり、ここでひと休みするのもおすすめ。登山道に大岩が出てくると急な登りとなり、大きな椿の下をさらに進むと、前方に明るい山頂が見えてきます。

少年の家コース

「三滝少年自然の家」から右まわり、左まわりのコースがあり、展望台で合流します。展望台で市内を眺め、反射板までひと登り。ここはバードウォッチングに良い場所。登山道も整備され、高峠山で右に進み、少しばかり登り下りするとAコースと合流します。

※「三滝少年自然の家」が休所日の時はゲートが閉るため通行できません。



宗箇松(宗箇山)とは

上田宗箇(1563~1650)は、元和5年(1619)、広島藩主となった浅野長晟に従って広島に入国した武将で、また、優れた茶人でもありました。宗箇は、広島城、縮景園、そして上田家屋敷などに茶室・露地を設け、その借景として、広島城から約5km離れた北西の山(西区・新庄山356m)の山頂に巨大な松を植えました。この松が「宗箇松」として広島の人たちに親しまれるようになりました。

宗箇山は、広島市民のてごろなハイキングコースとして親しまれており、特に地元では「元旦に初日の出を拝みに登る山」として有名です。また、付近の小中学校の校歌にも歌われたり、学校の遠足コースとなるなど、大変馴染み深い山になっています。



よく見られる植物・野鳥

■植物

ヒサカキ・ソヨゴ・ネジキ・リョウブ
コバノミツバツツジ・コックバネウツギ
ヤブツバキ・カクレミノ

■野鳥

シジュウカラ・ホオジロ・ヒヨドリ・キセキレイ
セグロセキレイ・コゲラ・ヤマガラ・エナガ
ウグイス・メジロ



昔の人の足跡を、風を感じながら
たずねてみませんか。



日涉園跡

日涉園は、寛政10年(1798)広島藩の藩医である後藤松眠が、藩の命令により三滝の地に薬草園として開いたものです。当時は約8,800㎡あり、諸種の薬草が栽培されていました。現在は、庭園の一部が残っているだけですが、太鼓橋、「神農堂」と呼ばれた建物の礎石と台座及び眼鏡橋など当時の姿を偲ぶことができます。全国で昔の形をとどめた藩の薬草園で現在まで残っているのは日涉園だけです。

松眠の子、後藤松軒は長崎で蘭学を研究し、シーボルトにも学び、高野長英とも親交がありました。その縁で逃亡中の高野長英をこの日涉園に、しばらくかくまっていた。

広島藩唯一の藩営の薬草園であるという希少性、近世史に残る

高野長英のゆかりの地としての歴史性から広島市の史跡に指定されています。

また、平成12年、この日涉園は後藤家の好意により広島大学に寄贈され、現在、昔の記録を基に整備・研究されています。



親鸞聖人像跡

昭和12年建立、昭和20年8月6日被爆、昭和30年像はノーモアヒロシマを世界に訴えるため、ニューヨークに移されました。その後台座に松若丸と呼ばれる童形が安置されていましたが、平成7年広島別院に移され、現在は台座のみとなっています。

こぼれ話あれこれ

●日涉園の広葉杉(コウヨウザン)

毛利元就が好んだ木、中国から持ち帰ったと伝えられています。

地藏堂



子供たちのよい友だちであり、人々の切なる願いをみつめて季節の移ろいの中でひっそりとたたずむお地藏さんは地域の人たちの心のよりどころです。このお地藏さんは、ここから北東約400メートルのところの道端にありまし

たが、昭和30年頃太田川放水路工事で現在地に移されました。平成13年8月再建されたおり、明治8年(1875)4月に建立されたことが判明しました。



こぼれ話あれこれ

●地蔵松の葉

歯痛地蔵ともいわれ、地蔵松の葉で痛む歯を突いてお願いすると痛みが治まるといわれています。

参道の石碑(石文)の代表作品

山本康夫 群れおふる楓もみちを 漏るる日に 谷の苔道ほのかに匂ふ わがつひの欣求ほのほと なりて燃ゆ 人よ麗わしく世よ平らけく	山本紀代子 わが心つはなのわた のとぶ如く はなち散らさむ光のなかに	丸山敏雄 世をかへすおほき力の みなぎらふ デルタ雪晴れていつくしま 見ゆ	作・光岡一芽 曲・山中邦子 若かえて瀬音のながき 三滝寺	尾上柴舟 わが如くこえなづみつゝ人 やありし ふみすべしたり山かげの草
---	---	---	---------------------------------------	--

歴史 三滝参道コース

春は桜、秋は紅葉季節の移ろいを
楽しみませんか。

おすすめ

竜王眺望コース



野球場からテニスコートまで
充実した設備の竜王公園は
老若男女楽しめるエリア。
市街を望む眺望はデートコース
にも最適で夜景もきれい。



竜王公園の使用について

■使用時間

- ・有料施設・管理センター・駐車場(午前9時から午後9時まで)
- ・上記以外の施設(ソフトボール場等)
3月から10月まで(午前9時から午後6時まで)
- 11月・12月・1月・2月(午前9時から午後4時まで)

竜王公園でよく見られる野鳥

竜王公園/メジロ、シジュウカラ、ヤマガラ、ホオジロ、コゲラ
竜王橋~竜王公園/カワラヒワ、
冬...モズ、ツグミ、ジョウビタキ

桜並木について

三滝参道の中ごろにある誓願寺から
三滝観音へ続く道に古い桜の木が
あります。これらの桜の木は昭和27年
から28年頃、昔の川土手から観音さ
んへの道に沿って植えられましたが、
誓願寺より下は道路を広げるため切り倒されて、今では誓願寺から
上の12本を残すだけとなっています。春はピンクの花、夏は緑の
葉、秋は赤い葉・黄色い葉と一年中私たちを楽しませてくれます。



また、その後、三滝観音、墓地、公園等にもたくさんの桜の木が植
えられ花見のシーズンには多くの人の目を楽しませています。

紫雲山 誓願寺

誓願寺は紫雲山、光照院と号し、天正18年(1590)10月15日
に策伝上人の意志を受けた毛利輝元公が材木町・現在の平和
記念公園の地に開基したものです。
開山の恵空上人は京都本山誓願寺より天智天皇御宸筆を賜り寺
号を誓願寺とし、毛利家の菩提寺と成りました。御本尊は阿弥陀
如来で浄土宗西山派に属しています。



イチョウの垂乳

岡山県久米南町誕生寺に法然
上人が比叡山にあがる時お手
植えされたイチョウがあります。
その二代目を50年前植樹し、
今では多数のコブが乳房のよう
に垂れ下がっています。



こぼれ話あれこれ

● イチョウ 银杏 公孫樹

嫁に行く日に、母親は二枚のイチョウの
葉を持たせる風習がありました。
「一生仲よく、虫のつかないように暮ら
しなさい」との願いをこめ、「一枚は新夫に、
あとの一枚は自分でもちなさい、大事に
してあげなさいよ」と渡したそうです。



三滝の水を集めて 流れる小川

かつてはホテルの里を目指し
た小川です。



文化・歴史

■浅野家の墓

備後三原の城主浅野忠次の姫

■浅野直道内室の墓

赤穂義士大石良雄の二女儿リ



軽便時代の停留場跡の碑

三篠北町公園にある、可部線の変遷の歴史
を物語るものです。



JR 三滝駅

- 横川駅をあとにして 車輪の音も懐かしく
のどかな田園走りゆく
可部鉄道の楽しさよ
- 横川発ちて放水路 渡れば早も三滝山
慈眼におわす観音の
八十八体 札所
- 左に高く三滝寺 右に朱塗りの二重塔
鶯来鳴く春もよし
螢飛び交う夏もよし
- せせらぎ清き川浴いに 上り手行かん太田川
眺め豊かに見渡せば
太田川の鉄橋あれに見ゆ

可部線鉄道唱歌

作詞 不詳
作曲 多梅雅

